

～人権が尊重される人間関係づくり・雰囲気づくりに向けて～

人権が尊重される環境づくり10の視点



学校や学級、地域で行われる学習会など、学習の場そのものの在り方が人権が尊重される雰囲気や環境でなければ、教育活動は十分な効果をあげることはできません。

学習者は、人権についての知識や技能を学ぶだけでなく、人権が大切にされた雰囲気や環境のなかで学ぶ心地よさを経験することによって、人権の大切さを実感するようになります。このような「隠れたカリキュラム」(教育する側が教えようと意図する、しないに関わらず、学習者がその内容や方法以外に、場の雰囲気や環境から多くのことを学びとること)が学習者に大きな影響を与えていることを認識することが重要です。

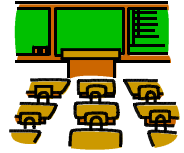
福岡県人権教育推進プラン (H21) より

京築教育事務所人権・同和教育室



人権が尊重される環境づくり10の視点

～日常を振り返り、○×チェックをしてみましょう～



- ① 児童生徒の作品を大切に、教室や校内に掲示していますか。
- ② 学級目標は児童生徒とつくり、定期的に振り返っていますか。
- ③ 人権コーナーがつくられ、人権意識を高めることにつながっていますか。
- ④ 教室内が整理・整頓されていますか。
- ⑤ 安心してすごせる児童生徒の仲間づくりに取り組んでいますか。
- ⑥ 教師から率先してあいさつをしていますか。
- ⑦ 毎日、児童生徒と積極的に会話をしていますか。
- ⑧ 複数の教師で児童生徒にかかわっていますか。
- ⑨ 校内の危険な箇所を把握していますか。
- ⑩ 児童生徒の学校での様子を具体的に家庭に届けていますか。

【活用方法】

このチェックシートで示す10の視点は、すべて行わなくてはいけないというものではありません。いくつか絞って実施するのも効果的だと思います。また、学校の実態に応じて上記以外の視点を加えることも考えられます。

さらに、各学期末の学校評価に盛り込むなど定期的な活用をしながら、学校全体としてできている視点、不十分な視点を整理し、視点の重点化を図っていくことで、より「人権が尊重される環境づくり」が推進されると考えます。

【その他の視点例】

○「**今月の誕生日**」「**私の好きな言葉**」などのコーナーをつくっていますか。

児童生徒の誕生日や、何が好きか等を掲示することは、児童生徒の相互理解や交流を深めるきっかけとなります。児童生徒が「〇〇さんは、こう思ってたんだ。私と一緒にだ。(私と少し違うな)」と、相手のことに思いをめぐらせる場面をたくさん作っていきましょう。上記以外にも「私の好きな本や音楽の紹介」などが考えられます。プライバシーの保護に充分注意しながら、定期的・継続的に紹介していくことが大切です。

また、児童生徒が集めた情報の中から、喜びや感動、疑問や怒りを感じたことを級友に知らせるコーナーを設置し、帰りの会などで発表させるという方法も考えられます。